

# 株式会社 ステップ

## 2024 年度 環境経営レポート

(対象期間 2024 年6月1日～ 2025 年5月31日)

本社



アスコン事業所



エコアクション21  
認証番号0007483



いつも視点は自然です

株式会社 ステップ  
SINCE 1995

作成日: 2025年6月30日

## 目 次

項 目	ページ
ごあいさつ	2
環境経営方針	2
組織の概要	3
事業・製品の紹介	4
環境経営組織図及び役割・責任・権限表	5
主な環境負荷の実績	7
環境経営目標及びその実績	7
環境経営計画の取組結果とその評価	8
環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟等の有無	11
緊急事態対応訓練	11
代表者による全体の評価と見直し・指示	12
これまでの環境活動の紹介	12

## ごあいさつ

当社は、滋賀県の湖北地域を中心としたアスファルト舗装工事、建設廃棄物の再資源化、アスファルト合材及び再生砕石の製造・販売の事業を行っています。この事業活動における環境への影響を理解し環境経営を優先課題と位置づけて、従業員と協力しEA21 環境経営システムを構築運用し、継続的改善と汚染の防止に努め、以下の項目について自主的・積極的に取り組みます。

## 環境経営方針

### <環境経営理念>

今日の私たちの生活環境に於いては、身の回りや社会生活の周辺で生み出されるゴミや産業廃棄物は、常に処分と言う問題が発生しています。地球温暖化や環境汚染は、日々悪化の様相をなしています。当社は、社員全員で地域社会や行政と力を合わせて環境を守る取組を行い、人類の地球規模の取組に少しでも貢献できるように継続的な改善を行い、環境保全に取り組みます。

### <環境保全への行動指針>

1. 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。
2. 創意工夫による省エネルギーにより二酸化炭素排出量の削減に努めます。
3. 廃棄物の発生抑制につとめ、建設副産物のリサイクル率の向上に努めます。
4. 適正な利用により水使用量の削減に努めます。
5. 塗料や接着剤など化学物質の適正管理に努めます。
6. 環境に配慮した工事に努めます。
7. 地域や関係団体の環境活動に積極的に参加します。
8. 本方針を全従業員へ周知徹底します。



制定日：2022年6月1日

改定日：2024年9月1日

代表取締役社長 石田 猛

□組織の概要

(1) 名称及び代表者名

株式会社 ステップ

代表取締役社長 石田 猛

法人設立 1995年 6月 1日

資本金 3,000万円

(2) 所在地

本社(工事部) 滋賀県長浜市木之本町木之本1768番地

アスコ事業所 滋賀県長浜市西浅井町塩津浜1650番地

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

責任者 取締役統括部長 山田 幸弘 TEL:0749-82-4370 E-mail y.yamada@step.tanaka-hd.jp

担当者 総務部 課長 三国 隆 TEL:0749-82-4370 E-mail t.mikuni@step.tanaka-hd.jp

(4) 事業内容

舗装・土木工事業

アスファルト合材・再生砕石製造販売業、産業廃棄物収集運搬業、産業廃棄物処理業(中間処理)

(5) 事業の規模

	本社(工事部)	アスコ事業所	合計
売上 百万円	546.0 百万円	437.0 百万円	983.0 百万円
従業員 名	14 名	7 名	21 名
延べ床面積 m <sup>2</sup>	2,150 m <sup>2</sup>	12,440 m <sup>2</sup>	14,590 m <sup>2</sup>

産業廃棄物処理業

受託した産業廃棄物の処理量

収集運搬量	がれき類	7,109 t
	ガラス陶磁器くず	0 t
	合計	7,109 t
中間処理量	がれき類	18,196 t
	ガラス陶磁器くず	0 t
	合計	18,196 t
再資源化量	がれき類	18,196 t
	ガラス陶磁器くず	0 t
	合計	18,196 t

運搬車両

車種	台数
10tダンプカー	9 台
4tダンプカー	1 台
3tダンプカー	2 台

主要設備

名称	台数
アスファルト合材製造設備	1 基
がれき類等破碎設備	1 基

(6) 事業年度

2024年 6月 1日 ~ 2025年 5月 31日

## □ 認証・登録の対象組織・活動

登録組織名: 株式会社 ステップ  
対象事業所: 本 社 (工事部)  
アスコン事業所  
対象外: なし  
活動: 舗装・土木工事業  
アスファルト合材・再生砕石製造販売業、産業廃棄物収集運搬業、産業廃棄物処理業(中間処理)

## □ 事業や製品(商品)の紹介

アスファルト合材プラント



産業廃棄物 中間処理施設

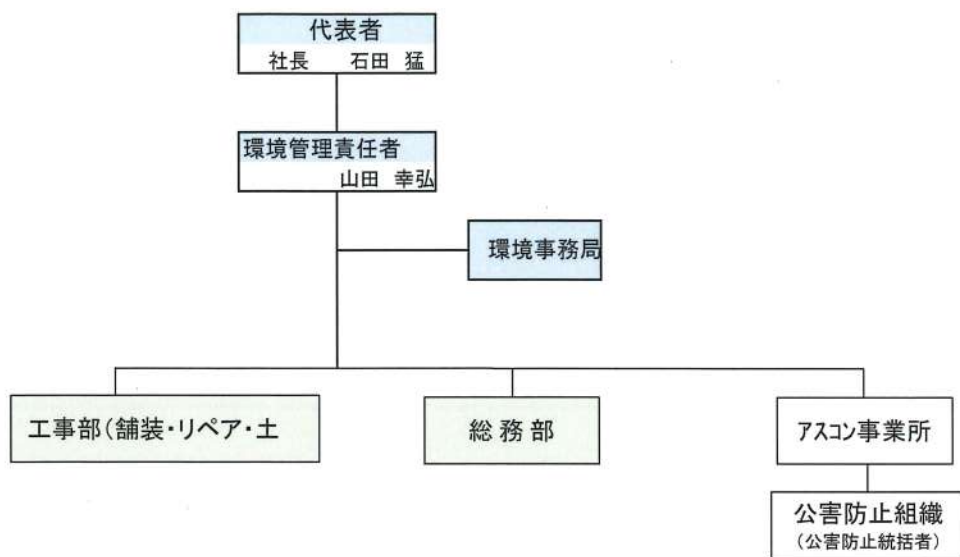


滋賀県 受注工事

大浦沓掛線補助道路修繕(舗装修繕)工事

甲賀土山線補助道路整備工事





	役割・責任・権限
代表者(社長)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境経営に関する統括責任</li> <li>・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間等経営資源を準備</li> <li>・環境管理責任者を任命</li> <li>・環境経営方針の策定・見直し</li> <li>・環境経営目標・環境経営計画書を承認</li> <li>・代表者による全体の評価と見直し、指示</li> <li>・環境経営レポートの承認</li> </ul>
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境経営システムの構築、実施、管理</li> <li>・環境関連法規等の取りまとめ表を承認</li> <li>・環境経営目標・環境経営計画書を確認</li> <li>・環境活動の取組結果を代表者へ報告</li> <li>・環境経営レポートの確認</li> </ul>
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境管理責任者の補佐、の事務局</li> <li>・環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施</li> <li>・環境経営目標、環境経営計画書原案の作成</li> <li>・環境活動の実績集計</li> <li>・環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理</li> <li>・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施</li> <li>・環境関連の外部コミュニケーションの窓口</li> <li>・環境経営レポートの作成、公開(事務所に備付けと地域事務局への送付)</li> </ul>
部門長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自部門における環境経営方針の周知</li> <li>・自部門の従業員に対する教育訓練の実施</li> <li>・自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告</li> <li>・自部門に必要な手順書の作成及び手順書による実施</li> <li>・自部門の想定される事故及び緊急事態への対応のための手順書作成</li> <li>・試行・訓練を実施、記録の作成</li> <li>・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施</li> </ul>
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚</li> <li>・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加</li> </ul>
公害防止統括者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特定工場設備運用維持管理</li> </ul>

□許可の内容

産業廃棄物収集運搬業許可の内容

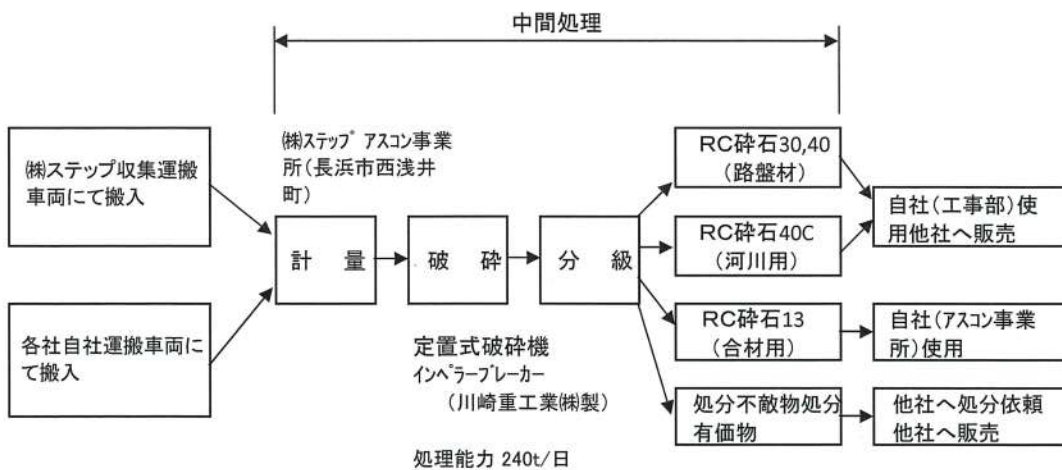
許可区域	許可番号	許可年月日	許可有効年月日	積替保管	廃棄物の種類																
					燃え殻	汚泥	廃プラスチック	木くず	紙くず	繊維くず	ゴムくず	ガラス・コンクリート・陶器くず	がれき類	廃油	廃酸	廃アルカリ	金属くず	動植物性残さ	鉢さい		
滋賀県	02500166321	令和4年5月30日	令和9年5月9日	無									○	○							

産業廃棄物処分許可の内容

許可区域	許可番号	許可年月日	許可有効年月日	事業の範囲	廃棄物の種類																
					廃プラスチック	木くず	紙くず	繊維くず	ガラス・コンクリート・陶器くず	がれき類	金属くず										
滋賀県	02520166321	令和4年7月26日	令和9年7月25日	破砕					○	○											

□廃棄物処理フロー

産業廃棄物中間処理フロー図



□主な環境負荷の実績

項目	単位	単位	2022年	2023年	2024年
二酸化炭素総排出量	全社	Kg-CO2	924,414	820,835	930,792
	本社		145,623	117,553	115,194
	アスコ		778,791	703,282	815,598
受託収集運搬量	アスコ	t	8,697	9,256	7,109
受託中間処理量			19,538	18,693	18,196
受託最終処分量			19,538	18,693	18,196
廃棄物排出量					
一般廃棄物排出量	全社	kg	1,200	1,200	1,200
	本社		1,200	1,200	1,200
	アスコ		0	0	0
産業廃棄物排出量	全社	t	863	406	1,210
	本社		854	400	1,202
	アスコ		9	6	8
水使用量	全社	m <sup>3</sup>	2,169	1,828	2,044
	本社		1,374	1,073	1,007
	アスコ		795	755	1,037

※二酸化炭素排出係数 0.418 kg-CO2/kWh 関西電力2017年度(調整後)係数  
 ※負荷の実績は工事現場を含む

□環境経営目標及びその実績

項目	年度		基準値	2024年		評価	2025年	2026年
			2021年	2024年6月～2025年5月			2025年6月～2026年5月	2026年6月～2027年5月
			(基準年)	(目標)	(実績)		(目標)	(目標)
電力による二酸化炭素削減	全社	kg-CO2	194,788	183,100	207,297	×	181,152	179,205
		基準年度比	100%	94.0%	106.4%		93.0%	92.0%
	本社	kg-CO2	9,283	8,726	12,173	×	8,634	8,541
		基準年度比	100%	94%	131.1%		93%	92%
	アスコ	kg-CO2	185,504	174,374	195,125	×	172,519	170,664
		基準年度比	100%	94%	105.2%		93%	92%
自動車燃料による二酸化炭素削減	全社	kg-CO2	250,999	243,469	219,616	○	240,959	238,449
		基準年度比	100%	97.0%	87.5%		96.0%	95.0%
	本社	kg-CO2	124,002	120,282	103,022	○	119,042	117,802
		基準年度比	100%	97%	83.1%		96%	95%
	アスコ	kg-CO2	126,998	123,188	116,595	○	121,918	120,648
		基準年度比	100%	97%	91.8%		96%	95%
A重油による二酸化炭素削減	アスコ	kg-CO2	575,319	558,060	503,878	○	552,307	546,553
		基準年度比	100%	97%	87.6%		96%	95%
上記二酸化炭素排出量合計	合計	kg-CO2	1,021,106	984,630	930,792	○	974,419	964,207
		基準年度比	100%	96.4%	91.2%		95.4%	94.4%
売上高(百万円)	売上高 原単位	kg-CO2/百万円	1,137.1	—	946.9	○	—	—
		基準年度比	100%	—	83.3%		—	—
水使用量の削減	全社	m <sup>3</sup>	2,291	2,192	2,044	○	2,169	2,146
		基準年度比	100%	95.7%	89.2%		95%	94%
	本社	m <sup>3</sup>	1,271	1,233	1,007	○	1,220	1,207
		基準年度比	100%	97%	79.3%		96%	95%
	アスコ	m <sup>3</sup>	1,020	959	1,037	×	949	938
		基準年度比	100%	94%	101.7%		93%	92%
一般廃棄物の削減	全社	kg	1,040	1,009	1,200	×	998	988
		基準年度比	100%	97.0%	115.4%		96.0%	95.0%
建設副産物の再資源化率の向上	本社	%	100.0%	99.5%	100.0%	○	99.5%	99.5%
		基準年度比	100%	99.5%	100.0%		99.5%	99.5%
溶剤使用量削減(あるいは適正管理)	アスコ	kg	1,754	1,701	1,947	×	1,684	1,666
		基準年度比	100%	97%	111.0%		96%	95%
環境に配慮した工事の推進	本社	行動目標(次項による)						

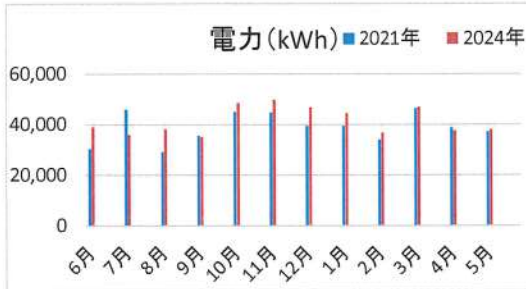
※LEG、灯油に関しては総エネルギーに対して割合が小さいので削減目標とはしない

□環境経営計画の取組結果とその評価【本社(工事現場)、アスコン事業所】

数値目標:○達成 ×未達成

活動:◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

電力による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
・数値目標	×	本社の取組結果と次年度の取組
・空調温度の適正化(冷房27℃ 暖房20℃)	○	今期も、基準年でない現場事務所を2箇所を設置したので、電力消費量が増加した。本社事務所では空気を循環させて冷暖房時の電力消費削減に努めましたが、夏の猛暑・冬の気温低下のために基準年の1.07倍の消費結果となった。夏季、冬季の気象の影響により電力消費量は変化しますが、今後も使用量削減に努めます。 アスコン事業所の取組結果と次年度の取組 破碎機の稼働時間を削ることが出来ず、合材プラントとの同時稼働時間が長かった。サイロやアスファルトタンクの設定温度などを見直したが、目標を達成することが出来なかった。
・不要照明の消灯	○	
・残業時間の短縮	△	

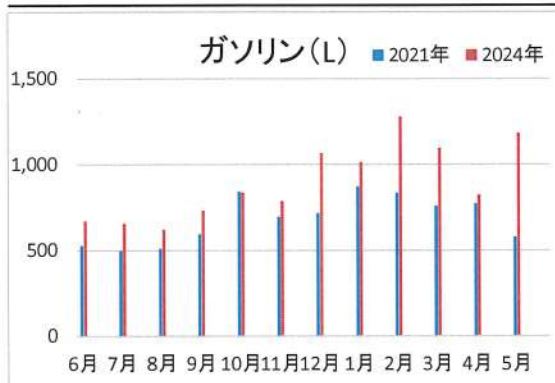


取組紹介欄



	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
2021年	30,420	45,846	29,232	35,562	44,968	44,741	39,464	39,433	33,955	46,460	38,732	37,186
2024年	38,846	35,909	38,250	34,997	48,363	49,710	46,667	44,425	36,753	46,738	37,353	37,916

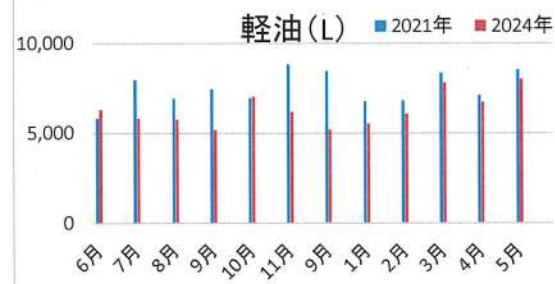
自動車燃料による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
・数値目標	○	本社の取組結果と次年度の取組
・アイドリングストップ	○	工事受注数減少により、燃料消費量も減り数値的には目標を達成できた。次年度も引続き乗合現場移動、重機のごまめなエンジンストップに心掛け、燃料消費削減に取組みます。 アスコン事業所の取組結果と次年度の取組 3～5月は重機を一台リースしたため軽油の使用量が増えたが、全体では目標を達成出来た。
・効率的な経路で配送	○	
・乗合による車両稼働の削減	△	



取組紹介欄



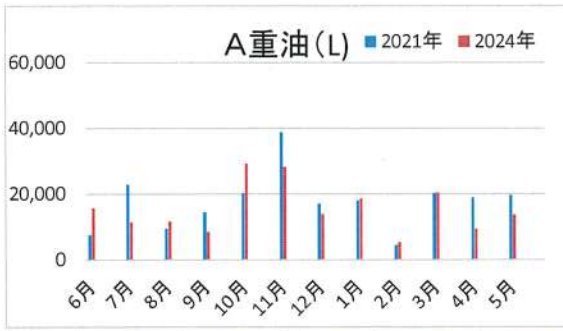
	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
2021年	526	496	511	595	841	696	716	871	833	758	773	576
2024年	670	653	619	731	836	785	1,066	1,013	1,277	1,093	821	1,179



取組紹介欄



	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
2021年	5,818	7,969	6,945	7,448	6,951	8,831	8,444	6,764	6,806	8,337	7,092	8,516
2024年	6,297	5,804	5,759	5,193	7,012	6,163	5,205	5,536	6,058	7,768	6,687	7,982

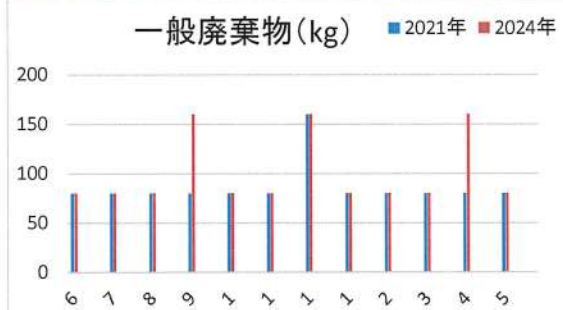


取組紹介欄



	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
2021年	7,600	22,969	9,583	14,542	20,318	38,836	17,126	18,026	4,500	20,254	18,931	19,610
2024年	15,735	11,511	11,678	8,362	29,216	28,200	13,909	18,591	5,271	20,429	9,390	13,641

一般廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
・数値目標	X	本社の取組結果と次年度の取組 ゴミ袋単位重量による排出数での取組の為、基準年度比数値は目標達成できてはいないが、上手く取組んでいる。長期保存されていた書類の破棄のため、9月と4月に排出量が増えた。
・分別の徹底	○	
・シュレッダー廃紙のリサイクル化	△	
・帳票見直しによる印刷物の削減	△	
・梱包材の再利用	○	



取組紹介欄



	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
2021年	80	80	80	80	80	80	160	80	80	80	80	80
2024年	80	80	80	160	80	80	160	80	80	80	160	80

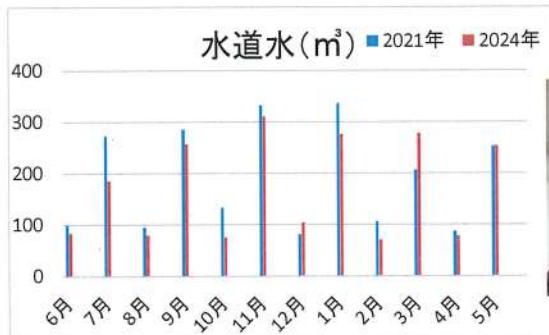
建設副産物の再資源化率の向上	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
・数値目標	○	本社の取組結果と次年度の取組 近隣現場では自社の中間処理施設で、遠方現場では委託中間処理施設を利用して適正な再資源化を行いました。
・分別の徹底	○	
・再資源化先の開拓	○	
・作業ミスによる廃棄量の削減	○	

取組紹介欄



水使用量の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
・数値目標	○	本社の取組結果と次年度の取組 遠方現場での現地の水確保に努めた結果、水使用量の削減が出来た。  アスコ事業所の取組結果と次年度の取組 3～5月に破砕機での水の使用量が増え目標を達成出来なかった。
・節水シールの貼り付けとポスター掲示	○	
・自動水栓取り付け	○	
・工事使用水の現地調達	△	

取組紹介欄



	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
2021年	99	273	95	286	133	333	81	337	106	206	87	253
2024年	83	186	79	256	75	311	103	276	70	277	77	253

環境に配慮した工事の推進	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
・工事の効率化	○	本社の取組結果と次年度の取組 資機材運搬車には、油液体吸着材を準備し油漏れ事故に備え、また自社保有の排ガス対策型機械・低騒音型機械を使用する等、環境に配慮した工事推進に取り組みました。
・使用機械の選定(排ガス対策型、低騒音型)	○	
・作業ミスの防止	○	
・顧客クレーム削減	○	
・廃棄物の再資源化の推進	○	

取組紹介欄



□環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用される法規制	適用される事項(施設・物質・事業活動等)
廃棄物処理法	収集運搬、中間処理、産業廃棄物(廃プラ、廃ガラス)
建設リサイクル法	建設副産物管理・再資源化
大気汚染防止法	排出基準の遵守、解体時調査・報告・掲示等法遵守
騒音規制法	対象区域における特定建設作業の届出・規制値の遵守
振動規制法	対象区域における特定建設作業の届出・規制値の遵守
水質汚濁防止法	有害物質の排出防止
浄化槽法	浄化槽
消防法(危険物)	対象危険物の保管
フロン排出抑制法	対象機の点検・記録・報告
顧客要求事項	品質管理

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。  
なお、違反、訴訟等も過去3年間ありませんでした。

□緊急事態対応訓練

緊急事態の想定: 火災の発生・油流出事故	
■実施日: 2024年7月9日	■実施場所: 株式会社ステップ 駐車場内
■参加者: 工事部長他6名	■実施内容: ・通報訓練、消火訓練、避難訓練 油流出事故対策
■評価: 消火訓練により通報、消火活動、避難手順の再確認、油流出事故に備えた処理キッドの使用の確認ができた。	手順書の変更の必要性 <input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし
■実施状況の様子	
	

緊急事態の想定: 火災の発生	
■実施日: 2024年7月10日	■実施場所: (株)ステップ アスコン事業所
■参加者: 山崎智人、木下尚司、木戸健治、梅原互、尾本貴之、大野淳天	■実施内容: ・通報訓練、消火訓練、避難訓練
■評価: 消火訓練により通報、消火活動、避難手順の再確認ができた。	手順書の変更の必要性 <input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし
■実施状況の様子	
	

## □代表者による全体の評価と見直し・指示

実施日：2025年6月27日

・今期は、基準年に計上していない現場事務所2箇所の電力消費が発生し、原単位で比較しても47.3Kwh/百万円に対し53.3Kwh/百万円の 結果となり対比が困難に思われる。  
・燃料消費削減活動については、上手く取組めていると思われる。  
・アスコン事業所においては、電力、A重油の消費量が数値目標を達成し、軽油消費量については目標を達成出来なかった。軽油の消費量 削減については抜本的な削減方法を勘考し、日々の使用量削減の取組を今後とも願う。  
・今回の活動で、基準年を2021年度とした最終年の取組となったので、次期からは目標値を見直した新たな活動を指示します。

環境経営方針	<input checked="" type="checkbox"/> 変更なし	<input type="checkbox"/> 変更あり
環境経営目標・計画	<input checked="" type="checkbox"/> 変更なし	<input type="checkbox"/> 変更あり 実績を踏まえて見直す
実施体制	<input checked="" type="checkbox"/> 変更なし	<input type="checkbox"/> 変更あり

## □これまでの環境活動の紹介

### 美知メセナ活動

